

e-ビーフNEWS 北の牧場から

April 2019

十勝の春先

雪も少なく雪解けも早く畑は黄土色の水墨画 荒涼な大地が続きます。「こんな雪がないのは初めてだと90のお爺ちゃんが驚くほど。朝のマイナスはひとケタ台、日中は10℃超えもあり東京に最接近のあついあつい。お日様のお目覚めが早く5時過ぎたら出る準備にかかりまぶしいほど光り輝きます。荒涼たる大地の中にも、あれだけ心配した冬枯れの小麦が復活、緑のじゅうたんが広がってきました。

オオハクチョウの群れがコーン畑で羽をひとやすみ。落ち穂拾いして北方行きの体力を蓄えています。ハトぐらいの緑の鳥(つぐみ)が牧場の飼料をつばんでいます。エゾリスも昨年埋めた松ぼっくりを探して動き回っています。長い冬が明け動物たちの動きは活発です。農家の人たちは春の戦いへ準備に入りました。



活動のお知らせ

- 3月30日(土) 13:00 麻布大学(日本畜産学会第125回大会会場)
日本産肉研究会第23回学術集会 「シェフとパイヤーに聞く! 赤身牛肉の最前線」
<http://www.agri.tohoku.ac.jp/keitai/jsmp/index.html>
- 4月 9日(火) 14:00 北海道酪農畜産協会 北海道肉専用種枝肉共励会実行委員会
15:00 北海道アンガス牛振興協議会 平成31年度総会
- 4月11日(木) 15:00 帯広宮崎ホテル 北海道オーガニックビーフ振興協議会 第3回総会
- 5月18日(土) 11:00 帯広畜産大学逍遙舎 環境リサイクル肉牛協議会第20回総会

NEWSばか読み

- 地域おこし協力隊 農業に8割関与 3/1:新しき意欲を
- 農林水産省 多面的機能支払交付金で遊休地解消へ成果 3/2:税金の多面的活用を
- ウルグアイ 牛肉輸出再開で日本市場開拓に意欲 3/5:牛肉輸入先が多岐に広がる
- アプリゲート 青果物規格外販売でふくしま農業法人と業務提携 3/5:
- 松尾ジーンズカン 5年ぶりに値上げ 3/5:輸入畜産物も競合で安物なし
- 根室地区 クロスブリーディング(異種交配)で検討会開催 3/7:品種の多様化
- 消費者省 福島県産購入アンケートで「ためらう」最小の12% 3/7:それでも売れず
- 北海道議会 種子条例を可決 3/7:種子法の理解度向上
- 内閣府 景気動向指数97%3ヶ月連続下落 3/8:景気回復傾向は遠く
- TPP発効2ヵ月 牛肉輸入3割増 3/8:効果顕著
- EU向け26日牛乳乳製品の輸出解禁 3/9:出入りどちらが多く
- 農林水産省 輸入小麦価格TPP影響で1.7%下げ5万4千円 3/9:
- 中国1-2月輸出入とも減少 貿易戦争で打撃 3/9:じわりじわり
- 乳業販売各社 液体ミルクを本格販売 3/12:飲料牛乳の多様化
- 鶏卵相場 底を脱し上昇でも前年度割れ 3/12:
- EU有機農業急拡大 消費者支持し耕作面積の7%占める 3/13:日本との差顕著
- 農林水産省 死亡牛BSE検査48ヶ月から96カ月に引上げ 3/14:緩和が進む
- GFP(グローバルファーマーズプロジェクト)でとかち製菓大臣受章 3/16:
- 厚生労働省 ゲノム編集食品を今夏でも解禁方向

- 3/19:遺伝子組替と分らず
- 農林水産省 スマート農業実証事業に全額補助 3/21:
- 鶏肉ムネ肉過去5年で最安値 安価な輸入商品開発進む 3/21:最終価格のみ
- 熊本県 木質バイオで最大規模の発電所建設 3/21:資源循環に疑問
- 農林水産省 和牛遺伝子資源保護で法改正検討 3/21:総合的農業意匠保護を
- 国交省 作業機付トラクターの公道通行を条件付き認可 3/22:牽引型が進まない
- 農林水産省 有機食品規模調査1,850億円規模拡大傾向 3/22:実態真まだ
- 長崎 スーパー種牛「平茂晴」配布終了で駆け込み需要殺到 3/22:種の世界特別
- 農林水産省 研究者の農業技術の現場普及を促す利用券を配布検討 3/21:
- 法務省 在留外国人最多の270万人3割が中国人 3/23:4月からより増える
- セブンアイH8期連続増益 海外コンビニがけん引 3/23:流通コンビニ優位変わらず
- 大根、キャベツ、ハクサイなど重量野菜の価格低迷で生産者悲鳴 3/26:鍋を食おう
- 農林水産省 畜産クラスターで乳牛60頭、繁殖肉用牛23頭に拡大 3/26:補助金効果
- 室工大 飛散しにくく識別可能な多機能粉状消石灰を実証中 3/27:大いに撒こう
- 米国産輸入農畜産物のシェア低下、TPP、EPE効果3/29:巻き返し
- 十勝農協連 1戸生乳生産が1000t超え酪農家1戸当飼養頭数180頭、経産牛110頭、飼料畑55ha 1頭当0.31ha 3/30:規模拡大が続く

東京直近NEWS (3/29 Shi-REPORT)

ホルス

相場は横ばいから高値基調も、3月末直近は一部下げ相場に転じた。頭数出回りは相変わらず減少傾向で、産地の取り扱いも減っている。販売状況は牛全体不需要期であり停滞模様。春休みに入り、一部給食関係も止まっており一段と鈍化。但し、気温の上昇と本州では桜の開花もあり今後焼き材需要は増加。ステーキは比較的引き合い強く焼き材時機到来も、切落しはやや停滞。頭数の減少から相場は高値に張り付いているものの、正肉価格は追いつけきれず問屋は枝肉価格と部分肉評価の値差が埋まらない。

経産牛

産牛相場は大きな変動ないものの、高値安定に変化なし。出回り頭数が少なく、ガリ系も枝肉高値維持しており挽き材含めた正肉のコストは上昇。新年度4月からはパーツも挽き材も値上げの声が多い。バラ系や切落し、スペックパーツなど産地パッカーも人材不足や人件費コストの高騰で対応できる条件が限られてきている。加工原料としての需要は一定維持しているものの、原料高騰から値上げと数量不足で加工関係からは問合せが多い。牛正肉も4月から値上げ情報多いが、国産としての需要は維持している模様。しかしながら、これ以上高騰してくると輸入へのシフト可能性も強い。今後夏場に向けてさらなる出回り頭数の減少から経産牛相場の高騰可能性強く、コストアップは必至か。

左先生の畜産学研究NEWS

今月はいよいよ新元号が発表になり改元は5月1日です。平成時代の30年間は戦争こそなかったものの災害や温暖化の影響とされる激しい気候変動など地球環境の変化に翻弄された時代でした。日本の国土は3,780haで60%が森林、農地は2018年に442haとなり年々暫減傾向を辿っています。農地法は農家が食糧生産を担う公的役割と地域社会形成に果たす特殊資産としての農地の役割の上に成り立っています。冬から春に農家は忙しい時期を迎えます。経済効率中心の日本では農産物により自然との対峙の厳しさも異なりますが、慢性的な後継者不足と担い手の高齢化などと共にTPP11やEPAの外圧と農家は振り返る間もなく次の準備や対策に追われています。改元と共に農産物の経済的評価だけではなく農業生産環境や自然環境保全を考慮した新たな地球環境と食糧生産環境維持に重点を置いた産業への展開を願っています。3月末までに届いたe-びーふNews64号の学術情報は以下の通りです。

1.日畜会報#90(1) 2019

(1) 1-11; アニマルウェルフェアが牛肉の生産性や消費者のニーズに与える影響(園田裕太他、京大院農)

アニマルウェルフェア (AW) と牛肉の生産性や消費者認識の影響を欧州(英国、スウェーデン、スペイン・フランス、フィンランド、イタリア)の事例研究を検討しました。AWの影響を農家、輸送・屠畜、消費者の各段階ごとにみると、農家や輸送・屠畜レベルではAWの動物管理方法がプラスに影響するという考えとその効果が薄いと見る見解もあり、欧州の消費者レベルではその付加価値を認める傾向があるものの今後AWの生産性や経済性の評価は更なる科学的実証が必要と思われました。

(2) #90(1) 23-29; 第一胃内保護コリ補給が絶食および絶水に伴う長距離輸送した黒毛和種去勢育成牛における増体量に及ぼす影響(武

本智嗣他、全農中研)

黒毛和種肥育成牛を鹿児島島の市場から栃木県にトラックで輸送すると1.5日、1500kmかかり、この間の絶食給水不足はメチオニン不足とコリン不足を招き、飼料効率が低下します。トラック輸送後7日間に100g/日、第一胃内易分解性のコリンを第一胃内保護加工してその補給効果を検討しました。その結果、血清コリン濃度は上昇し、輸送による増体抑制や血清メチオニン濃度低下を低減する効果があると思われました。

(3) #90(1) 31-36; 黒毛和種牛肉における脂肪酸組成とテクスチャーおよび肉色との関係(鎌田丈弘他、青森県畜研)

黒毛和種牛の胸最長筋の脂肪含量は脂肪交雑の改良で50%を超えるようになりました。筋肉内脂肪の脂肪酸組成と牛肉のテクスチャーおよび肉色との関連性を検討したところ、テクスチャーのうち最大荷重やガム性荷重および肉色の黄色度を示すb値などはオレイン酸など一価の不飽和脂肪酸と間に有意な負の相関がみられました。

2. 畜産技術#766, 2019.3

研究レポート(7-12): 飼料作物におけるスマート育種(秋山征夫:北農研セ)

酪農・畜産の効率的な展開には高品質で多収の牧草品種の開発が必須です。この品種開発研究にドローン(UAV)や空撮動画の画像解析技術をオーチャードグラスの条播圃場や個体選抜圃場評価に適用したスマート育種における客観性を検討しました。UAVの画像解析で早春の1番草の収量推定が可能で、UAVとデジカメで得た画像からのrGRVI(相対的グリーンレッドベジテーションインデックス)は罹病の指標としての有効性が高いと思われました。

国産牛 NEWS

話題提供2.「大自然を家庭の食卓に ボーンブロス八雲」 全2回シリーズ①

Rurudo代表 諸江 栄美

ボーンブロス 八雲
premium grassfed.
大自然を家庭の食卓に。
「ボーンブロス・八雲」 諸江栄美

ボーンブロスとは? bone(骨) + broth(出汁) = bone broth (骨のスープ)

豊富なアミノ酸、ミネラル、コラーゲン、ヒアルロン酸、グルコサミン

栄養の高さが改めて評価されている

初めまして! 諸江 栄美と申します。私は、北海道で育った「ボーンブロス」というスープを製造販売する者です。

ボーンブロス、古代からの食療法

祖先は、肉食動物たちが食べたマンモスの骨髄を食べた。

「料理の起源」とも言える最古の食療法

八雲中の骨と出汁

売々は、近所の牧場から骨(動物骨)を譲ってもらい、スープを作っていたような環境下で飼育された生きた牛の骨と目を向けたところ、牧草牛に行き着く。

ダンボール箱を開けた瞬間に香ばしい香りがした脂に触れるとべとつかず、サラッとしている

調理をする前か、今まで飲ってきた骨(動物骨)と明らかに違う事に気づく

感動! 煮出す時に出るアクが、極めて少ない臭み消しの工程が、殆ど必要ない。豆っぽい香ばしさのある、独特な風味

八雲牧場へ牧場訪問

（2017年10月八雲育種育成牧場にて）

（牛さんのお顔を食べてお慰ませるスタッフの方）

（牛舎：ベテランのしょうじさん、右前：小笠原先生）

（ボーンブロス ラーメン）

皆様に教わった、八雲牧場の生産体系

- ①安全安心の有機農業
- ②飼料自給率100%
- ③放牧型畜産
- ④アニマルウェルフェアに根ざした牧場である

健康そのものの八雲牛!

目の当たりにした大自然

「八雲循環型畜産」

牧場による、畜産物や化学肥料は一切使わない牧場

循環している

ここに住む牛さん達は、健康で心配のない自然に育ちます。

牛の排泄物は、この土地の肥力になります。

牛の排泄物は、この土地の肥力になります。